



## From the Desk of a Champion of Sinnoh Hailey Stutz

Let's talk Pokemon and Hokkaido! As all of my friends and students know, I am a big fan of Pokemon, as I have been since I was six years old (That's right! I've been a Pokemon fan for 16 years!) My love of Pokemon probably is partly responsible for putting me on the path that led me to Japan.

There are a lot of fun facts about Pokemon in relation to the real world. For example, did you know that each region in the Pokemon games is based on an actual place? The Kanto Region is, of course, based on Kanto; Johto is based on Kansai, and so on. The fourth major iterations of the Pokemon universe feature a region based on our very own Hokkaido! In this region, called Sinnoh, Jubilife City (Kotobuki City) is based on Sapporo; Canalave City (Mio City) is based on Otaru; Eterna City (Hakutai City) is based on Asahikawa; and Mt. Coronet (Mt. Tengan) is based on the Ezo Mountain chain!

The map of this region by and large maintains the geography of Hokkaido. Pokemon regions reflect many of the outstanding features of the actual places on which they are based, so Sinnoh has mountains and a northern city so snowy that you can't ride a bike. These are some interesting facts that I enjoy sharing with people I meet. I learned a lot about Japan thanks to the Pokemon games, including geography and folklore. Thank you, Pokemon!

註) Kanto Region - カントウ地方、Johto Region - ジョウト地方、Sinnoh Region - シンオウ地方、Jubilife City - コトブキシティ、Canalave City - ミオシティ、Eterna City - ハクタイシティ、Mt. Coronet - テンガン山

### シンオウ地方のチャンピオンの机から ヘイリー・ストウツ

ポケモンと北海道の話をししましょう! 友人も生徒もみんな知っているのですが、私は6才のときから、ポケモンの大ファン。(そう、16年も!) 日本に来ることになったのも、ポケモンのおかげと言えなくもない。

ポケモンには実社会に関わる面白い事実が多くあります。例えば、ゲームに出てくるそれぞれの地方は実在の場所を元にご存じでしたか。「カントウ」は、もちろん関東のこと。「ジョウト」は関西だったり…。ポケモン世界で繰り返し出てくる地方で4番目によく出るのが、われらが北海道。この「シンオウ」地域に出てくる「コトブキシティ」は札幌、「ミオシティ」は小樽、「ハクタイシティ」は旭川、「テンガン山」は蝦夷山系を元にしています。

地図もおおむね北海道の地形になっていて、それぞれ元になった実在の場所の特徴をよく反映しています。だから「シンオウ」には山があり、北のまちは雪が多くて自転車に乗れません。こういったあれこれを出会った人と話すのも楽しい。ポケモンのおかげで、地理や言い伝えを含め日本についてたくさん学ぶことができました。ポケモンに感謝!

(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

エイゴノマナビカタ

第116回

## Education first

”One child, one teacher, one book and one pen can change the world. Education is the only solution. Education first.” 「一人の子供、一人の教師、一冊の本、一本のペンが世界を変えうる。教育が唯一の解決策。まずはとにかく教育を」。

ノーベル平和賞受賞前に話したマララ・ユスフザイさんの国連スピーチです。彼女が書いた「わたしはマララー 教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女」(I am Malala- The girl who stood up for education and was shot by the Taliban)を読むと、パキスタンで

女性が教育を受けることは命懸けだ、ということがよく分かります。

「一人の教師」といえば、かつて第二次世界大戦直前のドイツでは、反ユダヤ暴動の嵐が吹き荒れていました。ユダヤ人教師や生徒が学校から排除される中、一人の教師があらゆる知恵を絞って子供を守りました。ナチスの手が迫る中、外国で生きる術を教えるために彼女は必死で英語を教えました。そして子供たちは間一髪イギリスに逃れました。

この感動的な話は、NHKのテレビ番組「地球ドラマチック」で放送になりました。「迫害に立ち向かったユダヤ人教師」(The teacher who defied Hitler)です。番組中では、生き延びた生徒のインタビューもありました。地質学教授になった人、小児科医で人権擁護活動をする人、戦争被害者を支援する人、教育分野の仕事に就いた人など。番組はNHKオンデマンドで視聴できます(有料)。「地球ドラマチック」は英、米、仏など各国の放送局で制作された優れた番組作品を紹介する番組で見ごたえがあり、英語の勉強にもなって素晴らしいです。ぜひどうぞ。

マララさんの国連スピーチは、インターネットのYou-Tubeで日本語字幕付きで見ることができます。英語版「I am Malala」は旭川市内の大手書店で購入可能です。